

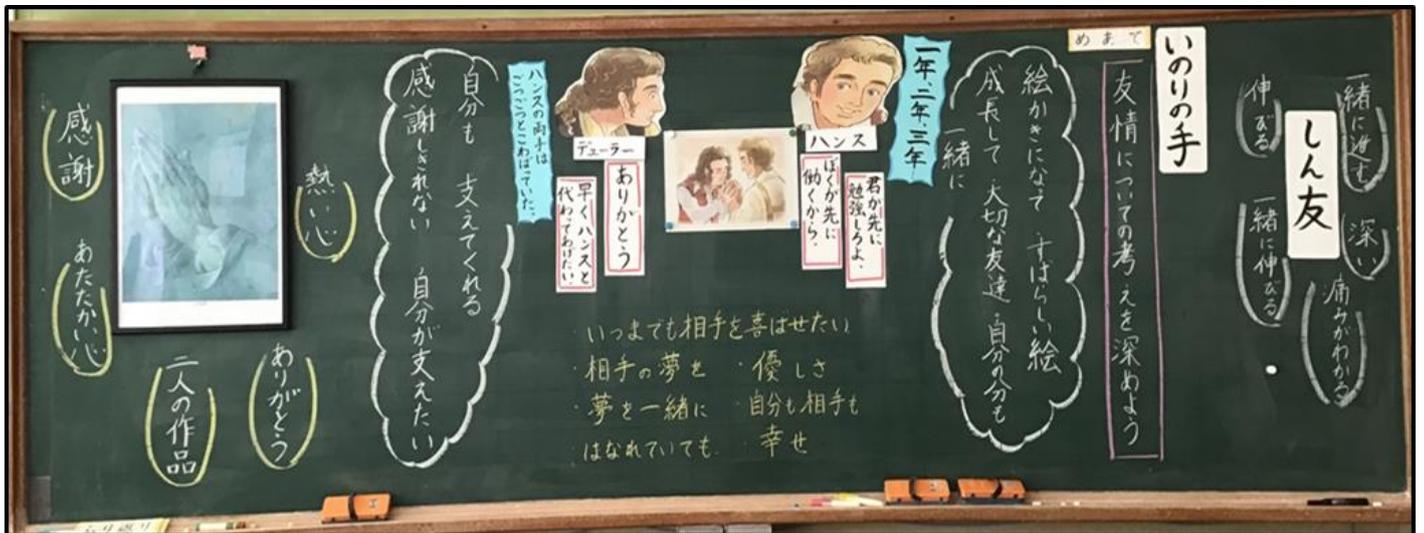
道徳だより

研修部ver.

テーマ：板書をデザインする。



京都市道徳教育研究会
会長 近藤 清美
研修部部長 宮本 真行



4年「いのりの手」 内容項目B-(9) 友情, 信頼



道徳科の板書って？

小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編に聞いてみます♪82ページ参照

カ 板書を生かす工夫

道徳科では黒板を生かして話し合いを行うことが多く、板書は児童にとって 思考を深める重要な手掛かりとなり、教師の伝えたい内容を示したり、学習の順序や構造を示したりするなど、多様な機能をもっている。

板書の機能を生かすために重要なことは、思考の流れや順序を示すような 順接的な板書だけでなく、教師が明確な意図をもって対比的、構造的に示したり、中心部分を浮き立たせたりするなどの工夫をすることが大切である。

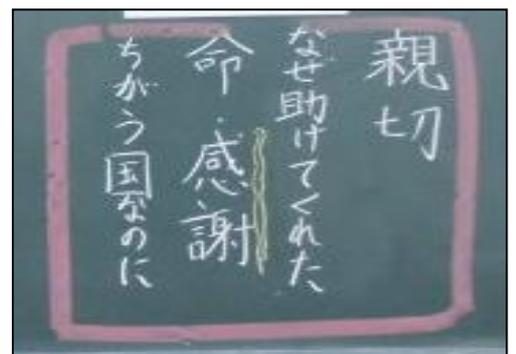
・・・だそうです。つまり、**板書をデザインする**という見方が大切なのではないでしょうか。授業が終わったあとの板書が整っていれば、道徳的価値について整理されますし、子どもたちも考えたことを書きやすくなります。同様に指導者自身も授業の振り返りがしやすくなります。他教科に比べ、道徳科の板書の方法は自由度が高いです。指導者が遊び心いっぱい授業をデザインして、子ども達と一緒に学習を楽しみたいものですね。以下は明日からすぐ試せる工夫です。

【板書の工夫】

キーワード作戦

→ 発言の要点を短く書きます。字の多い雑然とした板書から子どもたちを守ります。文章が多くなると板書から情報を捉えにくいことがあります。

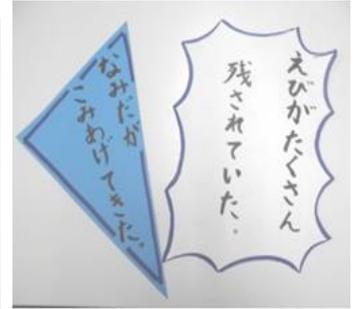
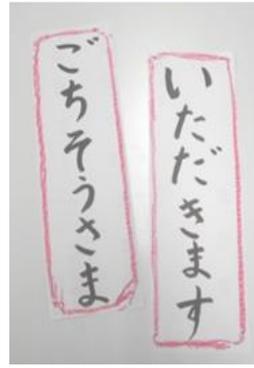
例 物語と詩の違い





フラッシュカード作戦

→ 事実は整理します。道徳科は教材の読み取りではないので教材に書いてあることは提示していきます。
場面や状況の理解が深まるので「誰が出てきましたか?」「なんと言ってたかな?」といったことを聞かなくて済みます。

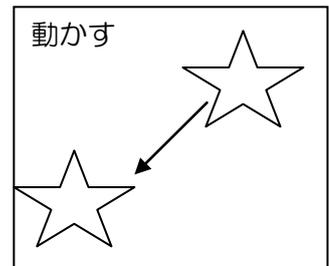
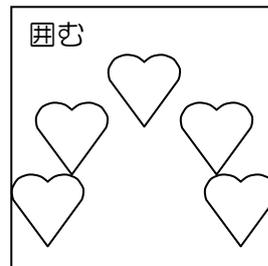
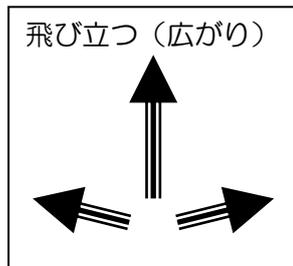
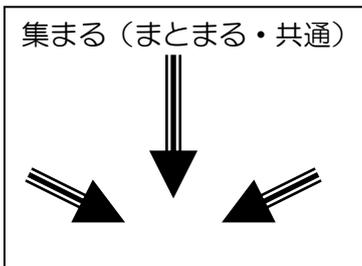
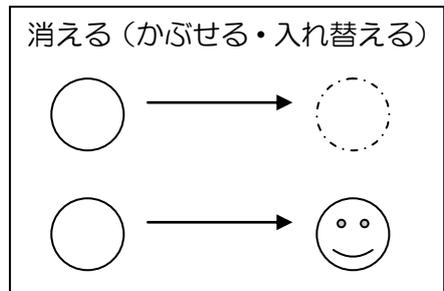
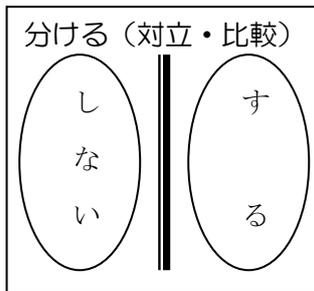
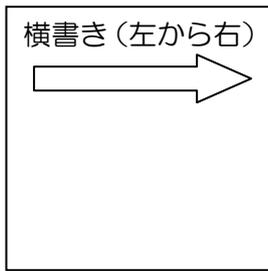
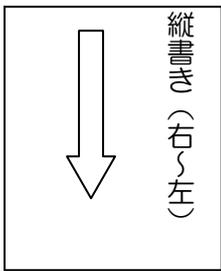


ハート作戦

→ あたたかさが視覚でも伝わってきます。
子どもの発言をハート型のカードに書きながら貼っていきます。振り返る時もあたたかさが残っています。



<板書の主な見方考え方>



その他にも、いろいろと考えられそうですね。指導者のみなさんがワクワクした気持ちで板書をデザインすると授業の楽しみ方が変わります。指導者が楽しめば、子ども達にとっても楽しい授業になると思います。トライアンドエラーでチャレンジしたいですね。